

(様式3)

会議の開催結果について

| | |
|--------------------|---|
| 1 会議名 | 第1回河内長野市空家等対策協議会 |
| 2 開催日時 | 平成29年7月14日(金) 午前10時00分から |
| 3 開催場所 | 河内長野市役所 8階 802会議室 |
| 4 会議の概要 | 1. 市長挨拶 2. 委嘱状交付 3. 会長・副会長の選出 4. 会議の公開・非公開の決定 5. 議案 (1) 空家等対策計画の重点検討区域について (2) 空家等対策計画策定に係る実態調査について ※詳細は第1回河内長野市空家等対策協議会議事要約のとおり |
| 5 公開・非公開の別 (理由) | 公開 |
| 6 傍聴人数 | 3名 |
| 7 問い合わせ先 | (担当課名) 都市づくり部都市創生課 (内線542) |
| 8 その他 | |

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第1回 河内長野市空家等対策協議会 議事要約

日時：平成29年7月14日（金）10:00～11:30

会場：市役所 8階会議室

1. 市長挨拶

平素より本市の住宅行政に多大なご尽力を賜り、心よりお礼を申し上げます。本日の議案は、「空家等対策計画の重点検討区域について」と「空家等対策計画策定に係る実態調査について」の2件です。委員の皆様には後ほどご意見を賜りますよう宜しくお願いします。

2. 委嘱状交付

市長より委員の委嘱状を交付。

3. 会長・副会長の選出

委員の互選により江川委員が会長に推薦され、全会一致により江川委員が会長に選出された。

次に、委員の互選により副会長の選出は、会長に一任され、会長の指名により碓田委員が副会長に選出された。

4. 会議の公開・非公開決定

全会一致で河内長野市空家等対策協議会は公開により開催することが決定した。

5. (1) 空家等対策計画の重点検討区域について

| 発言者 | 議事要約 |
|------|--|
| 濱田委員 | ・資料④の通報件数はいつからの値を累計したものなのか。 |
| 事務局 | ・特措法が施行された平成27年以降の値です。 |
| 三浦委員 | ・空家の数のデータの出所は何か。 |
| 事務局 | ・住宅・土地統計調査です。この調査はサンプル調査ですので、実態に即した正確な値にはなっていません。 |
| 三浦委員 | ・開発団地を重点区域にするという考え方は正しいと思う。開発団地は、高齢化も進んでいるし、個々のつながりも薄いため、孤立化しやすい。一方、既存集落はコミュニティがしっかりしていて助け合える。 |

(2) 空家等対策計画策定に係る実態調査について

| 発言者 | 議事要約 |
|------|---|
| 中島委員 | <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査項目について、追加の提案がある。①相続に限らず共有者の有無について、②建物と土地の所有者が一致しているのかについて、③空家所有者向けにも任意後見、成年後見について、である。 |
| 三浦委員 | <ul style="list-style-type: none"> アンケートについて、他都市で作った雛形等はあるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 今回、提示したものは、他都市の事例をもとに検討を加えて作ったものです。 |
| 三浦委員 | <ul style="list-style-type: none"> 空家の実態を一番把握しているのは消防署であると思われるので、そのデータを活用してはどうか。自治会に入っていないケースも多いため、自治会からの情報だけでは不足なのではないか。また、自治会の負担増にも配慮が必要と思われる。 |
| 濱田委員 | <ul style="list-style-type: none"> 南ヶ丘自治会では、地域のためということで、自主的に空家調査を進めていこうと動いているところである。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 大きな開発団地では自治会加入率が高いが、既成市街地では低い。そのため、水道閉栓データも活用しながら調査対象を抽出しています。 3月に初回の自治会との意見交換会を行いました。8月に第2回の意見交換会を開催したいと考えていますので、その結果も踏まえて検討していきたい。 |
| 市長 | <ul style="list-style-type: none"> 空家数を把握するに当たっては、広報誌は市内に全戸配布しているので、そのデータから概数が出てこないか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 検討します。 |
| 島崎委員 | <ul style="list-style-type: none"> 各自治会には自主防災組織があるが、その中では家族構成なども把握していると思うので、それを利用してはどうか。 |
| 大原委員 | <ul style="list-style-type: none"> 市民の意識付けも重要と感じる。空家の将来に対して不安を持っている人もいるし、相続登記をしていない人も多い。 国の施策もいろいろと出来ているので、その辺りについての情報周知も必要である。 アンケートだけでは不足だと思うので、シンポジウムを複数回開催することも良い事だと思う。これは、特に開発団地の人を対象としても良いと思うが。 リバースモーゲージという仕組みがあって、これは資産が1,000万円以上でないと利用できないが、空家の数が増えれば新しい枠組みが出来るかもしれない。 |
| 中島委員 | <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査のスケジュールに関して、発送が10月中旬頃となっているが、それまでに空家の所有者を全て把握するということがよいのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 自治会からの情報をもとに現地調査を行って空家かどうかを確認し、その所有者を把握したうえでアンケートを発送することになります。 |
| 江川会長 | <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の発送数はどうなるのか。 |
| 関委員 | <ul style="list-style-type: none"> 重点区域の方を中心にしたアンケート調査になるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 空家所有者300通、市内居住の空家予備軍と考えられる方1,500通と考えており、重点区域の方の割合を重くすることを考えています。 |

| 発言者 | 議事要約 |
|-------|---|
| 濱田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・書く方の立場に立って考えると、個人情報や書きたくないようなことが含まれると思うので、書く人にとって得になるようなことが無いと、回答してくれないのではないかな。 |
| 三浦委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・意識付けにも関係してくる。いきなりアンケート、というのも難しい。 |
| 碓田副会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内居住の空家予備軍と考えられる方は高齢独居世帯・高齢夫婦世帯などとのことだが、どのように抽出するのか。 ・アンケートの回答は無記名なのか。 ・家を買った時の価格や、ローンの有無等も含めて動きにくいのか等も聞けると良い。結構高い時に買った人が多いように思われる。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・一定条件を満たす人の中から、無作為に抽出することになります。 ・居住する町名は書いてもらいますが、無記名と考えています。 ・設問については、ご意見を踏まえて検討します。 |
| 関委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・買った時の値段はぜひ知りたい。売る時の基準にも関わってくる。 ・これまでに不動産売買の相談などを行ってきたが、買った時と売るときの値段が分かると話が進んでいく傾向がある。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・検討します。 |
| 濱田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票には、依頼文や趣旨説明等も付くのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・付けます。 |
| 江川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制などの情報も添付すると良いのではないかな。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の資料は質問項目のみですが、実際の調査票は回答しやすいよう選択式で作成します。案が出来次第、見て頂いてご意見を頂きたいと考えています。 |
| 柳川委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・以前、アンケートをした際、何度も働きかけてやっと回収率が5割を超えたので、それを見込んで実施した方が良い。 ・「必ずしも全設問に回答しなくても構わない」というような余地も残すなど、回答率を高めるための工夫が必要である。 ・市長からのメッセージを掲載したり、市政の新しい方向性にも活かすというような趣旨を示すなど、河内長野のより良い将来のために空家への対策を進めるべき、というような意識を市民間で共有することが大切である。 |
| 江川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・先程、シンポジウムという話もあったが、これまでに行ってきたいろいろな取り組みの情報を流しても良いのではないかな。 ・「コノミヤテラス」に相談窓口を置くようなことも考えているので、そのようなところに学生を配置して、そこで一緒にアンケートの回答を書くような方法も良いのではないかな。 |
| 柳川委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに答えることで市政に参加できるというような、ポジティブな方向につながるように意識付けが出来ると良い。 |
| 江川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生としゃべられる場の提供なども出来ると良い。 |
| 柳川委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・平均余命に関しては、大阪府としてのデータは取れないかな。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・確認します。 |

以上